やがて巡り巡る季節に 僕らは息をする きせい出になるその時まで ずっと忘れないで

一人ぼっち膝を抱えて 点上げたんだ あの日 き思ってたより晴れた空と あなたがそこにいた

党えてるもの全て 胸に焼き付けたんだいつか来るさよならの時のため だけど今は気づかぬふりをして 僕は笑う あなたと今

悲しみ 喜び 心臓の鼓動 たたって動かすんだ 僕という命 想いや感情 掛け値なしの愛を あなたがくれたから ませむよ 見ててくれる?

真夜中の雨が降り止めば 僕はきっと遠く 心配しないで 同じ空の たに僕はいるよ

。 見えてるもの全て 守ろうとするほどに あなたは優しさで傷つくから こた 答えを探すたび失うんだ 大事なもの こぼれ落ちていく

幾千の時を超えいつかまた出会う 繋いだ手の感触を思い出して あの夜に僕らは明日を願った 叶わぬ願いだとわかっていたとしても

とき くも とき かぜ かたち か 時に雲 時に風 形を変えながら もと あなたの元に ほら 僕は向かうよ

そして僕の声があなたに届くならなんてあなたは答えるのだろうありがとう ごめんねひどいやつだ バカだな愛してる 泣いて笑うのはを分僕かも 電こえる?

やがてめぐりめぐるきせつに 巡 変 季節 ぼくらはいきをする 僕 息 おもいでになるそのときまで 思 出 時 ずっとわすれないで

ひとりぼっちひざをかかえて ー人 膝 抱 ね おあげたんだ あのひ 見上 日 おもってたよりはれたそらと 鬼 空 あなたがそこにいた

みえてるものすべて むねにやきつけたんだ ${}_{\hat{\mathbb{R}}}$ いつかくるさよならのときのため ${}_{\hat{\mathbb{R}}}$ だけどいまはきづかぬふりをして ${}_{\hat{\mathbb{R}}}$ ばくはわらう あなたといま ${}_{\hat{\mathbb{R}}}$

まよなかのあめがふりやめば _{真夜中} 雨 降 止 ぼくはきっととおく 僕 遠 しんぱいしないで おなじそらの _{心配} 同 空 したにぼくはいるよ 下 僕

みえてるものすべて まもろうとするほどに ${}_{\mathrm{fl}}$ あなたはやさしさできずつくから ${}_{\mathrm{fl}}$ こたえをさがすたびうしなうんだ ${}_{\mathrm{fl}}$ だいじなもの こぼれおちていく ${}_{\mathrm{fl}}$

そしてぼくのこえがあなたにとどくなら $_{\rm f}^{\rm E}$ なんてあなたはこたえるのだろう $_{\rm f}^{\rm E}$ ありがとう ごめんね ひどいやつだ バカだな あいしてる ないてわらうのは $_{\rm f}^{\rm E}$ たぶんぼくかも $_{\rm f}^{\rm E}$ きこえる?

あなたはくれたんだ **きせき**のような<mark>ひび</mark>を _{奇跡} いつでもここにいるよ